

令和3年10月 木更津市定例教育委員会会議 会議録

1. 日 時 令和3年10月19日（火） 午後1時00分～午後2時00分
2. 場 所 木更津市役所朝日庁舎 会議室F
3. 出席者 教育長及び委員

教育長 廣部 昌弘
委員 渡部 佳子
委員 豊田 雅之
委員 井上 美鈴
委員 小寺孝治郎

職 員

教育部長	秋元 淳
教育部次長兼教育総務課長	平野 義視
教育部参事兼学校教育課長	今井 克彦
学校給食課長	清水佐知子
生涯学習課長	鈴木 和代
文化課長	小高 幸男
まなび支援センター所長	内海 雅彦
学校給食センター所長	竹内 康博
図書館長	森田 益央
郷土博物館金のすず副館長	稲葉 昭智
中央公民館長	水越 学
（会議事務局）	
教育総務課課長補佐	古賀佳代子
教育総務課主任主事	萩原奈央子

4. 傍聴人数 0名（非公開議案なし）
5. 議 案
6. 報告事項
7. 議事大要

○廣部教育長

定刻となりましたので、令和3年10月定例教育委員会会議を開催いたします。

会議の前に、10月1日をもって小寺孝治郎委員が新しい教育委員として着任されました。

小寺委員より一言ご挨拶をいただければと思います。よろしくお願いたします。

○小寺委員

初めまして、小寺と申します。市内幸町にございます、きさらづ循環器内科・外科の院長を勤めております。生まれは東京、大学までは四国におりまして、その後東京女子医大で30年ほど働いておりました。私は外科医だったのですが、いずれそちらも引退しなければならないだろうと思っておりましたところ、縁がありましてきさらづ循環器内科・外科を開設するに至りました。実際に参りましたところ予想以上に楽しく、現在住所は

東京にございますが土曜日の夜以外は木更津におります。教育のことに関しては分からないことばかりですけれども、皆さんから勉強させていただきまして、お役に立てることがあればと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

○廣部教育長

小寺委員、ありがとうございました。これからどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、会議に入ります。会議録署名人には、小寺委員にお願いいたします。

また、前回9月定例の会議録につきましては、井上委員と私が確認しそれぞれ署名をいたしました。

それでは、議案の審議に入りますが、今月の議案はありません。

続きまして、報告事項でございますが、今月の報告事項もありません。

続きまして、その他の事項につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

【その他、事務局連絡・報告事項】

- ・木更津市小規模特認校の転入学手続きに関する要綱の一部を改正する告示について
説明：今井教育部参事兼学校教育課長
- ・木更津市史編集部会設置要綱の一部を改正する告示について
説明：小高文化課長
- ・オーガニックシティフェスティバル出店について
説明：清水学校給食課長
- ・学校給食への有機米提供について
説明：清水学校給食課長
- ・木更津市生涯学習フェスティバル 2021 の開催について
説明：鈴木生涯学習課長
- ・木更津市生涯学習功労者表彰受賞者について
説明：鈴木生涯学習課長
- ・令和3年度公民館文化祭について
説明：水越中央公民館長

○廣部教育長

その他、委員からご意見等ございますか。

○豊田委員

修学旅行や授業参観、運動会等のイベントについてですが、今までは中止等が多かったところですが、現在新型コロナウイルスの感染者数もかなり減ってきておりますので、今後の開催方針等についてお聞きしたいのですが。

○今井教育部参事兼学校教育課長

豊田委員おっしゃるとおり、コロナの感染者数はかなり減っておりますので、それにあわせて学校の対策も少しずつ緩やかにしていく予定です。この先状況を見ての判断にはなりますが、少しずつ再開を検討していく方針で進めてまいります。

○井上委員

昨年の3月から5月頃にかけての一斉休校についてですが、急な決定で課題の出し方やそのチェックの有無等、かなり学校間で差があったように思います。当時学校で何が出来て何が出来なかったのかを振り返りしたほうが良いのではないかと、ということ以前に一度お話をさせていただきました。その後、振り返りや評価はされたのか、していればどういった評価になったのかお聞きできればと思います。

○今井教育部参事兼学校教育課長

当時、臨時休業を行った際の学校対応について、市内一斉の調査は行っておりません。昨年度臨時休業によって穴が開いてしまったということは確かにございましたが、年間を通じてリカバリーができたというところもあり、実施はしておりません。

○井上委員

令和2年度第2回教育長・教育委員研修会（千葉縣市町村教育委員会連絡協議会主催、県教育庁職員が講師で講演）でそういった議題があり、県は行っているんだなと思ってお伺いしたのですが、今さらな話となってしまいますが木更津市としてはしなくても良いというお考えでしょうか。当時、学校の先生方の熱量によってかなり対応に差が出たと個人的には感じており、したほうが良いのではと思った次第です。

○廣部教育長

当時、私も学校長を勤めておりましたのでその話となってしまいますけれども、数値として出してはおりませんが学級によって差が出てしまったのは事実だと思います。しかしながら、当時と決定的に違うことといたしましてGIGAスクール関係で一人一台タブレットを筆頭にICT化が進み、全ての学校がオンライン授業を配信できるようになっております。そのため、もしまた一斉休業という形になったとして取れる対応が以前とはかなり異なります。また学力的な話となりますが、昨年度末の学力テストの結果として、本市が例年に比べて落ちているといったこともございましたので、ある程度リカバリーはできたと考えております。

○井上委員

休校については、3月はかなり唐突な出来事でしたから仕方ないと感じております。しかしながら、4月、5月についてはどうかなと思っており、先ほどもございましたが先生の熱量によって指導の差が出てはいけないと考えておりますので、今後に向けて何かしらのフィードバックが必要なのではと感じるのですが。

○内海まなび支援センター所長

教育長の話にもございましたとおり、9月にまたコロナの感染者数が増えた時期があったと思いますが、その時に授業配信をした学校もございましたし、ドリルを中心に行った学校等、今後もし休校となった場合の準備を各校で試してございました。いずれにしても、前回のような形にはならないよう各校で実施検討を進めております。

○廣部教育長

また、10月頭に台風の接近があったと思いますが、その際市内一部の学校で休校をいたしました。その時もタブレットを持ち帰らせ、安否確認や朝の会の実施等を行ったところもあり、学校現場では色々と実施を進めております。

○今井教育部参事兼学校教育課長

先生の熱量というお話もございましたが、本件についてはコロナによる休業いかに関わらず、普段の中でも差が出ているものだと考えております。そういった意味では、教員の外部評価等については年間を通じて今後も実施してまいりたいと考えております。

○渡部委員

コロナで色々な活動が制限されていたのがだんだん解禁されてきておりますが、公民館、図書館、金のすずについての現状と今後のご予定等をお聞きできればと思います。公民館については各種サークル活動等の状況、図書館については電子図書サービスも始まっておりますが利用増減等、また金のすずについては夏に再オープンした後の話をお伺いしたいのですが。

○水越中央公民館長

公民館ですが、10月1日から緊急事態宣言が解除されましたことから、それまで活動できなかったサークルの利用を再開いたしました。現在、基本的に全てのサークルが利用できるようになっております。ただし解除されたばかりですので、いくつか条件をつけさせていただき、それを守ることを前提としてお貸ししているという状況です。先日丁度各公民館を回ってきたのですが、皆さま待ちに待っていたようで駐車場の車も多く、積極的に活用いただいております。まだ今後の状況が見えませんが、市の対策本部とも話をいたしまして可能であれば全面解除に向けて動いていきたいと考えております。

○森田図書館長

図書館は令和3年4月1日から緊急事態宣言による閉館や時間制限等はありませんでしたので、開館は通常通り行っております。各種イベントについても5月からおはなし会、児童文学講座、ブックスタート事業等、すべてコロナ前と同等の実施をしております。そういった観点では図書館はいち早くコロナ前の状態に戻った機関と考えております。なお各種イベントにつきましては定員制限をしておりましたが、10月1日の緊急事態宣言が解除された後からは定員も通常に戻す予定で準備を進めております。直近ですと、児童文学講座としてこぐま社の編集の方をお迎えして講座を開く予定です。現在40名程度の応募をいただいております。

続いて電子図書サービスにつきましては本年1月13日からスタートしております。現状、登録者数が1,000名まで到達いたしました。図書は青空文庫等が7,000冊、ライセンスの図書が1,000冊程度で合計8,000冊ほどがご利用いただけるようになっております。来館者数、貸出し数については1日あたり250名、1,200冊程度であり、これは昨年度と同等の数字であり、コロナ前と比較しますと概ね90%程度でございます。図書館の利用者につきましては、子育て世代と高齢者が多くを占める中、やはり高齢者の方に感染症対策をしているとは言えなかなかお越しくささいと言いつらい点が利用者減の一因と考えております。

○稲葉郷土博物館金のすず副館長

金のすずは2年間の休館を経て7月17日に開館いたしました。7月の1日あたりの来館者数につきましては、平成21年度の集計開始から一番多い結果となっております。8月につきましては平成27年度に続き2番目となりました。平成27年8月につきましては特別展を実施した月であり、常設展示の期間で考えますと過去一番多くなってお

ります。しかしながら9月につきましては平成28年度から恒常的に来館者数が落ちておりました、後ろから3番目の結果でございます。なお近隣市の博物館の入場人数推計ですが、金のすず休館前の平成30年度と今年度を比べますと、袖ヶ浦市の博物館はおおよそ90%程度に減、金のすずは増加はしております。

また事業についてですが、8月までは全てキャンセルしております。唯一例外といたしまして、大学の学習課程で学芸員の資格を取るための博物館実習につきましては受け入れいたしました。今後につきましてはソーシャルディスタンスを取りながら各種講座等を実施することを考えますと、博物館の室内収容人数が10名程度になることが想定されます。10名程度の講座ですと、外部講師の方に却って失礼になってしまう懸念や、またオンライン実施も検討したのですが、携帯の電波も入りにくい館内ですのでそれも現実的ではないということから、外部講師への依頼は基本的に避け、博物館職員が講師となつての講座・内容を検討したいと考えております。

○廣部教育長

公民館は具体的に何か制限をしていますか。

○水越中央公民館長

緊急事態宣言が解除されましたので、開館時間を21時までいたしました。また中央公民館にはワークスペースがございますが、その利用は20時半までにしております。

○豊田委員

GIGAスクール構想で、現在一人一台端末があると思います。そこに学校だより等が配信できれば先生方の印刷・配布の手間が無くなる他、保護者の方もタブレットを触れて良いのではと思ったのですがいかがでしょうか。

○内海まなび支援センター所長

一人一台タブレットですが、現在毎日持ち帰っているわけではございませんので現状すぐにとすることは難しいと思われまふ。今後使用方法等にあわせ、そういったことも検討していきたいと考えております。

○廣部教育長

他になければ、その他を終了いたします。

以上をもちまして、令和3年10月定例教育委員会会議を終了いたします。

会議録署名人 教 育 長
委 員